

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第26号
令和3年11月22日発行
黒沢尻工業高等学校

○ “全てのことは自分が『源』” という考え方

“こだまでしょうか”

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。

「ばか」っていうと
「ばか」っていう。

「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていう。

そうして、あとで
さみしくなって、

「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。

by 金子みすゞ

ちょっと前に“自己チュー”という言葉が流行りました。これは「自己中心的な考え方をする人や人」を指しています。おそらく、日本人の多くがそれはダメなことだと教わり、そういう考え方をしないように気を付けているのではないのでしょうか。

でも、自分が見聞きすることでしか物事の事象を知り得ないので、自分を中心に物事が起こっている”と言えます。

大切なのは、知り得たことへの捉え方です。自分の捉え方次第で「良いこと」にも「悪いこと」にも変化してしまうからです。

左は、金子みすゞさんの有名な詩です。これを読んで、何か気づけるでしょうか？

よく、「〇〇さんのせいで...」「あの人が〇〇と言ったから...」と言っている人がいますが、はたしてそうでしょうか？

自分の捉え方＝見え方＝在り方次第で様々なことに変化が起これば、変わってくるはずですが。

笑顔で人と接していれば、周りもそうしてくれます。逆に、不機嫌そうにしていれば、周りも身構えてしまうものです。

過去と他人を変えることはできませんが、自分の捉え方を変えることができれば、過去の意味づけも変えられ、周りの人に対し

て好影響を与えることもできます。例えば、サングラスを掛けたまま外から室内に入ったとたん、急に見えづらくなり不安になります。すると、慌てて外すはずですが。はっきり見えれば、ほっと一安心するはずです。それと同じで、何かのタイミングで「あっ！そうか！」と思える瞬間が“気づき”です。

自分に見えているのは、“自分だけの世界”です。物事を曇りガラス越しに見るか、クリアレンズを通して見るかは自分次第です。“物事が上手くいかない”“誰かとトラブルになった”となった場合は、是非、自分の心の在り方に気づいてみましょう。

○修学旅行について

今年度の修学旅行について、年間行事予定表では、2年生が11月30日（火）から12月3日（金）、3年生は12月18日（土）から21日（火）で実施予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で3年生は中止となり、2年生は2月18日（金）から21日（月）に延期となりました。

文部科学省によると、修学旅行の目的は「平素と異なる生活環境の中にあって見聞を広げ、集団生活のきまりを守り、公衆道徳について望ましい体験を得ることなど」と書かれています。3年生は、高校生活の思い出の一つとなるはずだった行事が無くなり、残念に思っている人もいるでしょう。それでも、ほとんどの人が進路先も決まり、自動車学校へ通うことになっているでしょうから、無理して実施することは避けました。

気休めにならないかも知れませんが、大人になって旅行する目標ができたと思って、今のうちに一生懸命働いてお金を貯めておきましょう。

